ほけんだより

12月号

平成30年11月30日発行

軽野保育園

冬のかぜについて

冬に流行するかぜには、発熱、鼻水、喉などが主症状の“鼻と喉のかぜ”と、嘔吐や下痢が主症状の“お腹にくるかぜ”（感染性胃腸炎など）があります。
冬場、特に注意すべきはインフルエンザです。時に重症化することがあり、急な発熱や悪寒、筋肉痛・関節痛を伴うようなら、インフルエンザの可能性があります。

インフルエンザは、早く検査をしすぎると、陽性にでないことがあります。

発熱してから12～48時間がベスト。
熱が出た翌日に受診するのがおすすめです！

保育園で嘔吐や下痢があったら･･･

その際に衣類などを汚してしまった場合、二次感染予防を考慮し 保育園では衣類の洗濯や消毒は行わず、そのまま持ち帰って頂きます。
ご家庭での消毒、処理方法をプリントにて一緒に添付しますので、参考にして下さい。
お子さんの全身状態を見て必要と思われる時は、お迎えをお願いすることがあります。

また感染性胃腸炎でお休みし,登園するにあたっては、嘔吐・下痢の症状が治まり『ふだんの食事がとれること』を目安にして下さい。
ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

歯科検診が終わりました

数名の赤ちゃんは泣いてしまいますが、ほとんどの子ども達は泣かずに、とても上手に検診を受けられます。ちょっぴり緊張した表情で大きな口を開ける姿はとてもかわいいです。

虫歯のある子は、全園児で計１０名で、
全体の14％でした。
６月の歯科検診の時より１名減っていました。

乳歯の虫歯は、悪化すると永久歯が変色したり歯並びに悪い影響を及ぼすこともあります。
虫歯の程度により、治療内容や指導内容が違ってきますので、今回指摘を受けたお子さんは一度歯科受診をする事をおすすめします。

今月はクリスマスですね。私には3人の子どもがいますが、産まれた年から毎年 クリスマスには、ひとりひとりに本をプレゼントしています。
今、興味のありそうな内容のものを選び、伝えたいメッセージを添えて渡しています。小さい頃は絵本ばかりでしたが、今は　大学生と高校生になった子どもたち。自分が色んな本を読んでいないと選ぶこともできないので、近年はこの作業もだいぶ大仕事になってきました。けれど着々と手の離れていく子どもたち。そこに歩み寄れるこの作業を、自分なりに楽しんでいきたいと思っています。

みなさんも　今年のクリスマス
お子さんに　絵本を一冊プレゼント
してみてはいかがですか。

看護師　　野崎　幸子